

ご使用にあたって

一はじめに

『にほんごワークブック③ 日本の歴史（上）』は、小学校社会科の歴史分野の内容をやさしい日本語に書き直したワークブックです。本書は、日常会話レベルの日本語は理解できても、学習に使われる用語を理解したり、学年相応の社会科教科書の本文を読み取ったりすることが難しい小学校6年生と中学生の外国人児童生徒を対象としています。縄文時代から安土・桃山時代までの主なできごとや時代の特徴、重要な人物についておおまかに把握し、日本の歴史に興味や関心を持つことを主な目的としています。

一構成

本書は、安土・桃山時代までの歴史の流れを時代ごとにまとめています。それぞれの課は、「**本文－重要漢字の練習－確認問題**」の3部によって構成しています。巻末には本文に対応するポルトガル語訳を載せています。

○本文

- ・本文は、小学校の歴史で学ぶ重要なポイントを絞り込んで、外国人児童生徒に理解しやすいように、やさしい日本語で記述しています。時代の流れが理解できるよう、1課ごとにまとまりのある構成を心がけました。本文を丁寧に読むことによって、その時代の特徴をおおよそ理解することができます。
- ・小学校の学習内容を基本にしていますので、中学生に使用する場合、中学校での学習に足りない語彙や内容があります。本文中の「もっと深めよう」は、中学生のために語彙や内容を補足したものです。
- ・内容的には、細かな知識を網羅的に説明するものではありませんので、社会科の「教科の学習教材」としては足りない箇所もあります。児童生徒の力に応じて、内容を補足してください。
- ・本文は一文を30字以内の短文にし、できるだけ複文を避け、簡潔な表現で記述しました。ただし、「～がつくられました」のような出来事の受動表現など、歴史教科書の特徴的な表現は残しました。
- ・「絵をかきましょう」は、資料を調べる学習スタイルの導入としてご活用ください。

○重要漢字の練習

- ・重要語彙の漢字練習をするページです。漢字で表記された歴史用語は、外国人児童生徒にとって、読むことも書くことも困難に感じられることが多く、それが学習意欲を削ぐことにもつながっています。ここでは、授業やテストで頻出される、特に重要な語彙を選び、書く練習ができるようにしました。

○確認問題

- ・学習内容を確認するページです。設問は、本文の内容に完全に対応していますので、日本語の力がまだ十分でない児童生徒でも、本文から答えを導き出すことができます。こうした設問に答える練習を繰り返すことで、徐々に在籍学級でのテストや学習ワークを自分で解くことができるようになります。

○意味を調べよう

- ・本文や確認問題の中で分からない言葉があったときに、国語辞典などで意味を調べて書くためのシートです。調べた言葉を蓄積することで、児童生徒自身の簡易辞書となります。こうした活動を積み重ねることで、自律的に学習を進めていけるようになります。

○本文のポルトガル語訳

- ・日本語の力はまだ十分でなくとも、母語の力が高く、母国の歴史的な概念を学んできている児童生徒には、日本の歴史であっても、母語で理解をすることが可能です。そうした考えから、ブラジル人児童生徒のために本文をポルトガル語に訳しました。ポルトガル語訳には、理解を促すために、日本語本文にさらに詳しく説明を加えた箇所があります。
- ・このページは、ポルトガル語が分かる指導者と協力することで、より有効に活用することができます。(指導例2参照)

一本書を使った指導の流れ

<指導例1>

◎日常会話には支障がないが、社会科の授業を理解することは困難な児童生徒への指導例

	学習活動	指導のポイントと工夫 ※留意点
導入	<p>本文を読む活動を通して、その時代の特徴をおおよそ理解する。</p> <p>・教師もしくは児童生徒が本文を音読する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・本文の内容の理解を促すために、絵や写真、図などを使って説明を加える。 〔理解支援・視覚化〕・必要に応じて、分かりやすい言葉に言い換えて説明する。〔理解支援・言い換え〕・本文だけでは足りない背景知識や情報を補って説明を加える。 〔理解支援・補足〕

<p>展 開</p>	<p>本文の絵をかきましようや意味を調べようを活用し、調べ学習を行う。</p> <p>重要漢字の練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典を使って言葉の意味を調べさせる。 ・社会科資料集などを使って、歴史的なことから調べさせる。〔表現支援〕〔自律支援〕 <p>※児童生徒や指導時間数の状況によっては事前に絵や写真を用意し、選択して貼る活動も可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊な読み方の漢字が多いので、丁寧に指導する。〔表現支援〕〔記憶支援〕 <p>※児童生徒や指導時間数の状況によっては、宿題にしても良い。</p>
<p>ま と め</p>	<p>確認問題を解く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・確認問題を解くことで、学習内容の整理や定着を図る。〔表現支援〕〔記憶支援〕

<指導例2>

◎日本語の力はまだ十分でないが、ポルトガル語の力が高く、ブラジルの歴史的な概念を学んできている児童生徒への指導例

	学習活動	指導のポイントと工夫 ※留意点
<p>導 入</p>	<p>先行学習として、ポルトガル語訳の本文を読み、その時代の特徴をおおよそ理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポルトガル語の相談員やスクールアシスタント、もしくは児童生徒がポルトガル語の本文を読む。 <p>本文を読む活動を通して、その時代の特徴をおおよそ理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師もしくは児童生徒が本文を音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポルトガル語でのやりとりでおおよその内容を理解させる。 〔理解支援・母語による先行学習〕 ・本文の内容の理解を促すために、絵や写真、図などを使って説明を加える。 〔理解支援・視覚化〕 ・必要に応じて、分かりやすい言葉に言い換えて説明する。〔理解支援・言い換え〕 ・本文だけでは足りない背景知識や情報を補って説明を加える。 〔理解支援・補足〕

<p style="text-align: center;">展 開</p>	<p>本文の絵をかきましようや意味を調べようを活用し、調べ学習を行う。</p> <p>重要漢字の練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典や日葡辞典を使って言葉の意味を調べさせる。 ・社会科資料集などを使って、歴史的なことから調べさせる。 〔表現支援〕〔自律支援〕 ※児童生徒や指導時間数の状況によっては事前に絵や写真を用意し、選択して貼る活動も可能である。 ・特殊な読み方の漢字が多いので、丁寧に指導する。〔表現支援〕〔記憶支援〕 ※日本語初期の児童生徒には社会科の重要漢字を覚えることが困難である場合も多い。重要漢字をカードにして、読むことができるレベルを目標としても良い。
<p style="text-align: center;">ま と め</p>	<p>確認問題を解く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・確認問題を解くことで、学習内容の確認や整理を行う。〔表現支援〕〔記憶支援〕

※本書での表記について

- ・本書での日本語表記は、小学校社会科の教科書を参考にしています。在籍学級での学習につなげるために、漢字表記にはすべてルビをつけています。
- ・本書は全体を同じ日本語レベルで作成しています。したがって、日本語テキストのように課が進むごとに日本語の難易度が高くなるというわけではありません。
- ・本書でのポルトガル語表記は、ブラジルでの新しいポルトガル語表記『Nova ortografia da Língua Portuguesa』を参考にしています。